

パブリックコメントでいただいたご意見と審議会の考え方

今回の狛江市第3次基本構想素案に対するパブリックコメントでは、104名の方からご意見をいただきました。こちらでは、皆さまよりいただいたご意見とそれらに対する考え方を記載しています。

実施期間 平成21年7月1日～21日
意見総数 104件(はがき75件、メール25件、その他4件)

- ・いただいたご意見の中に、審議会ではなく、市がお答えするべきご意見もありましたので、それらは市の考え方を記載しています。
- ・いただいたご意見の中で、基本計画策定の際に参考とするものは、基本計画策定市民分科会に資料として提出します。
- ・いただいたご意見は、適宜要約して掲載しています。

【1 審議会の考え方】

分類	いただいたご意見と審議会の考え方	
計画期間	意見	20年は長すぎるのではないか。
	考え方	この基本構想では、20年後のまちの姿を目標として定めています。この20年を計画期間として固定するのではなく、中間年次の見直しも含め、社会情勢の変化にあわせ、対応していくこととします。このことを表すため、「はじめに」の最後の一文を次のとおり修正します。「この第3次基本構想は、20年後を目標とした将来像を示すものですが、10年目に中間見直しを行います。」
将来のまちの姿	意見	<p>「水と緑を活かす自治のまち」は修正すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自治のまち」のイメージが分からない ・記載する必要がない(当たり前のこと) ・これからは住民が主役である ・「水と緑の住宅都市」の方がよい <p>【提案】「子どもとお年寄り(災害弱者)に優しい(守る)自治のまち」「地域福祉、いちばんを目指す自治の町」「水と緑を活かす環境のまち」「水と緑を活かす街、こ・ま・え」「水と緑と市民を活かす自治のまち」「すべての人を活かす自治のまち」「水と緑とともに生きるまち」「水と緑をまもるまち」</p> <p>「水と緑を活かす自治のまち」を評価する。</p>
	考え方	将来像では「私たちの都市」「自分たちのまち」を表現するため、「自治のまち」としていました。市民が中心となるまちの姿を表現するため「私たちがつくる水と緑のまち」に修正します。
前書き	意見	少子化による人口減少は、年金問題など労働人口を問題にするときには必要な数値ですが、地球温暖化防止の観点からは、少子化は望ましいことです。また、高齢化は社会の仕組みにかかわる問題です。基本構想の前書きには適切ではないと思います。冒頭の表現には、環境に優しいまち作りが、地球温暖化防止に、また高齢者に優しいまちとなることを取りあげるべきと考えます。
	考え方	少子高齢化や本格的な人口減少は、我が国全体の動向であり、狛江市も少なからず影響を受けるものと捉えています。しかし、狛江市自体は、急激に人口減少などが進むわけではありませんので、「第1章 私たち狛江市民がめざすまちの姿」の説明文から「21世紀～例外ではありません。」を削除します。
	意見	「地方分権と権限委譲・自己決定権の拡大」の意味するものは、「自治体独自でより市民のニーズにあった市政運営を可能にする」だけでなく、自治体の運営や行政の主体がその地域に暮らす市民であるということです。したがって、これまでの「参加と協働」を「より強化」するだけでなく、主体は市民・住民であると宣言をするべき。冒頭に宣言をおくべき。地方分権一括法による権限委譲は自治体政策の自己決定権の拡大であると同時に地域に暮らす住民の自己決定権を認めたものです。「すなわち、自治体の運営主体は地域住民であり、行政は地域住民の総意をもって基本構想を策定して市政運営に当たります。この基本構想をそういうものとして定めます。」
考え方	主体が市民・住民であることを「宣言」という形式では表現していませんが、素案のP2下段で、めざすまちの姿について「市民がまちづくりの主役となり、・・・」と表現していますので、主体であることは示していると考えています。	
めざすまちの姿の説明	意見	「水と緑を活かすとは多摩川・野川などの水系や地下水・雨水などの水循環、武蔵野の面影をとどめる樹林地・屋敷林などの自然環境、国分寺崖線下からの武蔵野台地、立川段丘とその下の多摩川氾濫源といった狛江の地形の特徴も含めた自然を大切に守ることです。さらにそれらを暮らしに活かしながら・・・つまり、自然に接する地域の環境整備には工夫をし、」と修正。
	考え方	ご提案の文章では、狛江市の地形なども表現され、狛江市のより詳細な自然特性と施策の方向性が示されています。基本構想よりも基本計画に活かすべき内容と捉え、基本計画策定の際の参考とします。

	意見	「自治のまち」とは、冒頭の宣言にあるように、まちの運営主体は地域住民ですが、まちづくりの主体は、市民と行政、その他狛江市を支えるすべての団体、企業です。そして、それぞれが、お互いに助け合い、学びあい、協働していくことで、将来にわたり持続可能で、小さなまちならではの活気に満ちた街づくりを進めていくことを表現しています。
	考え方	「水と緑を活かす自治のまち」を「私たちがつくる水と緑のまち」に修正することとしました。素案の「自治のまち」は「私たちがつくる」に変わりますので、「市民がまちづくりの主役となり、～」以下の文章との整合性はより適切に改善されたと認識しています。
3つの基本政策	意見	「まちの姿を構成する3つの基本政策」（3ページ）としては、多様な人材が居住する狛江市では、そのことが魅力であり、誇りにすべき要素ですから、「図表1」（3ページ）の2本の柱（水と緑を...と活気と...）にもう1本の柱を加えるべきです。つまり、「人材育成と活用を誇りとする社会環境」という柱です。
	考え方	ご指摘の人材育成と活用については、生涯学習の領域に含まれる内容です。柱の表現に「人材育成と活用」という言葉はありませんが、内容的には「活気と優しさがあふれる地域社会に含まれます。
	意見	P3「参加と協働」「情報の共有」「地域の人々が積極的にまちづくりに参加し、地域の課題に取り組む地域社会の重要性が見直されています。そして、戦争を支えてしまった時代の反省を忘れず、差別のない平和な地域社会をめざします。」
	考え方	ご指摘の意見に沿って、基本政策に平和に関する表現を入れ修正します。さらに平和に関する表現とともに人権に関する表現を加え、基本政策と後段のまちづくりの原則とのつながりを改善します。
	意見	参加と協働でつくる自治も、活気と優しさがあふれる地域社会にも「水と緑を活かす」=自然との共生が貫かれてしかるべきです。狛江の強みは東京都という大都市にあって緑と水が豊かにある、ということである訳ですから、人と企業を呼び込み持続的に運営されるためには、その魅力を反映した「4都市基盤」、「5子育て・福祉・健康づくり」、「6教育・文化」、「7産業・消費生活」の項目がある方が、コンセプトが徹底した構想になり、説得力が増します。
	考え方	自然との共生の考え方を分野横断的に反映させ、コンセプトをより徹底させるべきと考え、自然・環境分野以外にも水と緑を活かす表現を加えています。
図表2	意見	図表2以下のセグメントの切り口も見直す必要があります。当たり前のことを羅列しただけで方向性がまったく見えません。2本柱を明確にするなら図表1も「私たちのまち」ではなく「地域の魅力を高めるまちづくり」にでもしたら如何でしょうか。
	考え方	図表2は、当たり前の内容の羅列であるのご指摘です。確かに一般的な分野別の分け方ですが、分かりやすい分け方でもあり、素案の通りとします。また、図表1の屋根の部分は、市民中心のまちをめざすことを表現するため、「私たちのまち」とします。
	意見	新しい基本構想（狛江市第三次基本構想素案）では、「水と緑を活かす自治のまち」と記載がございました。そして3つの柱と7つの項目にさらにブレイクダウンしていますが、例えば「水と緑を活かす」を、3自然・環境、4都市基盤、5子育て・健康、6教育・文化と関係づけ、より具体的な標語に構成頂くなど、工夫の必要を感じます。
	考え方	3つの基本政策につながる7項目について、基本政策の内容を反映した標語にすべきとのご意見です。7項目をさらに細分化した項目では「平和を求め人権を尊重するまち」と内容を表現していますので、7項目については、分かりやすさを優先し、一般的な分野別の分け方・表現としました。
まちづくりの原則	意見	素案の「まちづくりの原則」は、削除すべき。既に機関決定している、「市民憲章」と「平和都市宣言」があるので、言わずもがな。自治体執行機関の事務処理の基準に「平和」がいきなりでてくるのは、特にそぐわない。
	考え方	まちづくりの原則は、基本構想の将来像を実現するための基本的な考え方です。市民憲章、平和都市宣言とは位置づけが異なりますので、素案のとおりに掲載します。平和を求め人権を尊重することは、まちづくりを進める上で、基本的な理念であると考え、最初に記述しています。
	意見	戦争中は隣組組織が法律一本で戦争を支える住民監視・管理の組織となってしまいました。町会といった組織は常にその危険性ははらんでいます。「信頼の絆や郷土意識が育つ豊かなコミュニティを目指す」という部分は必要でしょうか。この文章のために総体として意味が不明になってしまいます。この文章を入れることで、さまざまな施策が作られていくのですから、この部分は精査議論をしなくてはなりませんので、割愛すべきです。この文章がなくても目指すものは十分に伝わります。危険なものを入れるべきではありません。
	考え方	防災、防犯活動をはじめとして、地縁組織がまちづくりに果たす役割は大きく、地縁組織の協力を得ながらまちづくりを進める考え方です。そこには信頼の絆や豊かなコミュニティが不可欠であると捉えています。ただし、「郷土意識」という表現から、行政が市民の意識に関与する印象を与えている可能性もありますので、誤解を招く表現を除く意味で「郷土意識」は削除します。
行財政運営	意見	地方政府としての自律を高めるために自治体運営の基本ルールを定め、議会のチェック機能と提言機能強化で、トップ・マネジメントを強化し、住民主体の仕組みを作ります
	考え方	審議会としては、基本構想で市議会について言及することはふさわしくないと考え、議会に関する記述はしないこととしました。
	意見	行財政運営について。「トップマネジメント」「戦略本部となる自治体経営を確立...」などの表現は、自治体と経営を混同した表現ではないかと思われる。自治体はそこに住み暮らす市民のに立つ視点が必要です。その視点からの意識改革の推進が必要だと思います。「戦略本部となる自治体経営」は意味不明。削ったほうがよいと思います。
	考え方	他の意見も合わせ、最終答申ではこの行財政運営の項目を改めて整理し、それぞれの文言についても修正しました。その中でご指摘の語句は表現を変えています。
	意見	「トップ・マネジメントを強化」と言っても具体的中身が解らない。それよりも「市民のために頑張る市役所」を前面に出してほしいと思います。
	考え方	他の意見も合わせ、最終答申ではこの行財政運営の項目を改めて整理し、それぞれの文言についても修正しました。その中でご指摘の語句は表現を変え、「サービスの向上を図ります」としています。

	意見	「グローバル化」を言うなら、外国籍市民と共に生き合うまちにしていこうことを書いてほしいと思います。
	考え方	ご指摘の内容は、「1 まちづくりの原則」の「平和を求め、人権を尊重するまち」に含まれます。
	意見	職員の「法務・政策能力」は、「法務・政策能力・実施能力」とします。事業実施担当職員のことでも考慮すべきだからです。
	考え方	ご意見を踏まえ、最終答申では「サービスを提供する職員の政策法務能力」という記述に変更しています。
自然・環境	意見	3「自然・環境 環境に優しいまち」について。「...ごみの減量化、リサイクルなど地域での実践や太陽光発電などの自然エネルギーの活用、さらに自転車、公共バスの利便性を高めることで、環境に優しいまちをつくります。」とする。
	考え方	風力発電については、今後も「微力でも新しいことに積極的に取り組む」という姿勢を示すべく、記載しています。
	意見	湧水ありません。地下水豊富ではありません。文章精査を求めます。
	考え方	ご指摘のとおり、現在は市内の湧水は枯渇しており、地下水の現状も定量的把握がなされていません。より正確に表現するため、「狛江にある水資源を環境負荷をかけずに活用することで」と修正します。
都市基盤	意見	美しい都市景観をめざした基盤づくり。
	考え方	P7の「美しい景観のまちなみ」に示したように、自然と建造物との調和を図るなど、美しい都市景観の形成を進めていきます。
教育・文化	意見	「6教育・文化」（8ページ）は、「6教育・スポーツ・文化・芸術」とします。この項の「子どもの成長を見守るまち」の記述「学習環境づくりを進めます」（8ページ上から4段目）は、「学習環境づくりをソフト・ハードの両面から進めます」とします。「6教育・文化 生涯学習を通して学びあうまち」（8ページ上から8段目）の「そのために...」の記述は、「そのために基本的人権として確立している学習権、文化享受権など諸権利に対する、市行政、教育行政の責務を自覚し、施設、財政条件、事業提供などの基盤整備に努めるとともに、市民が自主的に活動できる場所の確保と...」に書きかえます。「6教育・文化 地域文化を創造するまち」（8ページ下から19段目）のタイトル「地域文化を創造するまち」は、「地域のスポーツ、文化、芸術を創造するまち」に書きかえます。
	考え方	「6教育・文化」は、スポーツや芸術も含め幅広い意味で文化という言葉を使用しています。また、学習環境づくりは、ご指摘のとおりソフト・ハードの両面から検討する必要がありますが、具体的内容については基本計画で検討いたします。さらに、「6教育・文化」の「生涯学習を通して学びあうまち」の説明文については、市民がまちづくりの主体であることを第1章で説明していますので、あえてこの説明文で諸権利に言及しなくてもよいと捉えています。「地域文化を創造するまち」は、文化を幅広い意味で使用しましたので、「6教育・文化」と整合を図るため、「文化を創造するまち」と修正します。
都市基盤 子育て・福祉・ 健康づくり 産業・消費生活	意見	素案「4都市基盤 便利で快適なまち」、「4都市基盤 美しい景観のまちなみ」、「5子育て・福祉・健康づくり 健やかに暮らせるまち」、「7産業・消費生活 都市農業を振興するまち」の項目に共通することとして、便利な土地でありながら、自然の残る、美しい街、高齢者が生き生きと暮らしていける環境を具体的に示してほしいです。
	考え方	便利な土地でありながら、自然の残る、美しい街、高齢者が生き生きと暮らしていける環境を具体的に示すことについては、基本構想よりも基本計画に反映すべきご意見であると捉えました。ご意見を参考にしつつ基本計画で検討します。
共通	意見	この様な町が出来るとうれいす。もう一歩、イメージがはっきりするよう、3つの基本、又は7項目毎に1つずつ、アドバランがあがらないでしょうか。
	考え方	今回は、見る方に印象が残りにやすくなるように、3つの基本政策に絞ってタイトルを掲げています。
用語説明	意見	用語説明について（10ページ）「市民」の定義のうち、「その他 狛江市を支えるすべての団体、企業をいいます。」（10ページ上から3段目）は、「すべての個人、団体、企業をいいます」とします。いわゆる市民参加条例についての市の「解説」=基本的な考え方の4ページではそのようになっています。また、「まちづくり」は、ハードとしての建設面と、社会、教育など人間の活動が中心となるソフト面とが混用され、市民の理解が混乱するオソレがあります。従って、「まちづくり」のコトバを用いる場合には、「ハードとしてのまちづくり、ソフトとしてのまちづくり」とか、「建設、建築面のまちづくり、人間面のまちづくり」というように前置きの表現をつけて市民の理解の混乱を避けるようにしてはいかでしょうか。
	考え方	ここでは、この基本構想案を作成するにあたり、それぞれの用語をどのような意味で使用しているかを表しています。また、「まちづくり」については、分野に関わらずハード・ソフトの両面が必要で、両者の濃淡がありますが、施設を整備する内容と仕組みをつくる内容の両面から検討する意味で、あえてハード・ソフトを分けずに使用することにしました。
イメージ図 図 表1	意見	「活気と優しさあふれる地域社会」が市民自治の上に立つ、もう一つの車輪であったようですが、どこに表わされているのですか？自治に含まれているのでしょうか？そうであるならば、素案のイメージ図とは異なって来ると考えます。
	考え方	審議会での検討により、概念図を「車輪」に見立てて表現するよりも、土台と柱からなる「家」に見立てて表現するほうが望ましいとの結論となり、市民フォーラムでの素案から修正しました。
水と緑の活かし 方	意見	「水と緑を活かす」という部分について、自然環境を護るだけでは「活かす」ことにはなりません。どう活かすのか、基本構想案でも見えてきません。
	考え方	ご意見を踏まえ、自然・環境分野以外の分野に水と緑を活かすことを追加しています。
政策の表現	意見	単なる理念(理想)としてとらえれば異をとえらるものではありません。しかし現実的に狛江市の将来像として実現させる政策的な位置付けと考えると多に問題があると思います。というのは3から7の政策のほとんどが、何々を「つくる」あるいは「します」で結語されています。このような基本構想を指針として各分野ごとに基本計画を策定した場合、「取りやめる」とか「縮小させる」といった選択肢はとりにくく、財政的裏付のないまま計画が進められ、その結果、将来、市の財政を圧迫しかねないことが危惧されるからです。

	考え方	財政規律を保つことは、基本計画においても前提条件です。将来にわたり健全な財政運営の維持に努め、その財政的な制約の中で施策や事業内容を検討します。
定量計画	意見	定量計画の盛り込み。会社組織に勤めている立場からすると施策の基本的な方向性を示す際に定量的指標が入っていないことは理解に苦しみます。「2行財政運営」は勿論のこと、「4都市基盤」、「5子育て・福祉・健康づくり」、「6教育・文化」、「7産業・消費生活」においても定量的目標は掲げられるべきです。
	考え方	施策ごとに成果管理を実施するため、基本計画に行動指標と成果指標を記載します。
表現の視点	意見	構想は市行政が市民に約束するものだと思われ、市民が市民やまして行政に約束するものではないと思います。その立場で表現を見直していただきたいと思えます。
	考え方	基本構想は、市民を含めた審議会で素案を作成し、市民フォーラムやパブリックコメントを通じて市民の意見を盛り込み修正を図っています。市民と行政が基本構想の内容を作成し、市民と行政が確認し合い、その内容実現に向けたまちづくりを行政が市民に約束するものです。こうした考え方に基づき表現をしています。
合併	意見	近隣市との合併の是非は、検討項目に加えるべきです。財政均衡を目指しても、よほど、大胆なまちづくり施策を実施しない限り、縮小化になる可能性が高く、近隣自治体との市民サービスの格差が、顕在化してきます。それでも、自立を志向するのか、少なくとも、両者の比較を、市民中心に検討することが必要です。
	考え方	基本構想、基本計画は、あくまで狛江市が独自にまちづくりを進めることを前提として検討すべきものと捉えています。合併の是非については、基本構想、基本計画とは切り離して検討すべき事項と考えています。
保育施策	意見	「5 子育て・福祉・健康づくり」「子育てしやすいまち」(7ページ)では、子育て世帯への支援(下から11段目)の次に、「とくに保育の施策」の文言を挿入します。0歳から5歳児数は増加の傾向が見られるので、共働き希望者の増加をふまえて、保育希望者全員を受け入れる必要があります。そのことを文章として含めるべきです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
地域医療と介護サービス	意見	いきいきと過ごせるまちづくり、健やかに暮らせるまちづくり。(地域医療や介護サービスを充実させてください。)
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
細やかな配慮	意見	子育て・福祉・健康づくりにおいては、市民が7万人しかいないからこそできる細やかな配慮を盛り込めないものではないでしょうか。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
教育・文化	意見	狛江らしい、自然も人も大切にできる人材の育成を、盛り込めないものではないでしょうか。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
構想実現の方法	意見	基本構想の素案として取り組むには、現下の厳しい狛江市に将来に明るさの見える基本構想であって欲しい。何とかしようとするアイデアに欠けています。5頁以下に項目が並べていますが、これを誰がどのように進めていくのですか。現状の委員会形式で市民の声を聞いた、市民が参加した、と言う形をとるなら現状からの脱却は無理でしょう。“タテ割りの組織を超えた総合化を図っていく必要がある”と認識するなら「小さなまち狛江市」を「こま構改革特区」として取り組むことを提案します。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
平和施策の展開	意見	「平和を希求」の主語が「市民一人ひとり」となっており、行政として平和施策を積極的に展開することも明記してほしいと思えます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
行財政運営	意見	「2行財政運営 地方政府としての自立と自治体運営の強化」(6ページ)について。地方政府としての自負をもつからには、狛江市についての将来展望とそれに基づく政策形成への覚悟をのべるべきでしょう。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
環境教育	意見	地球温暖化に関連して、環境を守ることの大切さを知ってもらうことを課題として付け加えるとよいと思えます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
都市基盤	意見	都市基盤ひとつとっても、便利で安全で美しい、そんなことはどこの町でも目指している、あたりまえなことだと思います。それだけでいいのでしょうか。狛江の歴史を考慮すれば、元水路だったところ、古墳、石碑など、活かすべき街角の景色はたくさんあります。効率化と利便性ととも、古き良き物も大切にできるところ、狛江のやさしさが浮かび上がると思えます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
都市基盤、安全	意見	都市基盤として 素案では、「安心して暮らせる安全なまち」を謳っているが、将来を担う、幼児・子供達は、自ら身を守りきれない状況に置かれていま。保育所、小・中学校等の未対策の耐震化を最優先で行うべきです。危険度が高い校舎・体育館等は、出入り禁止等の処置も考慮すべきです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
子育て充実と高齢者活用で財政健全化	意見	若い夫婦が住みたくなる町 子育て環境の充実= 税収効果 生まれてくる子ども達、若い夫婦が死ぬまで住みたくなる町 高齢者の生きがい、不安解消 若い人は元気に働き、高齢者は自治体のためにボランティア活動を容易にできる環境づくり 市の支出削減につなげる。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。

教育文化、生涯教育	意見	教育・文化として 素案では、「市民の学習環境づくり、生涯学習の場所の確保と活動支援の積極的な推進」を謳っていますが、図書館の早期施設を、現在の中央公民館の場所の確保を、市民の最適な身近な生涯学習の場所として確保したい。市民の学習環境づくりとして、欠くべからざる条件であると考えます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
市民の学習	意見	基本構想の大きな柱が「自治のまち」が掲げられ大変大事なことと思います。このテーマを支えるために、また1のまちづくりの原則の 1~3の柱を支えるために、市民の自立を支える教育・学習環境が 大変重要ではないかと思ひます。6の教育・文化の項目特に 2に関して市民の学習の機会を整備支援することをしっかり打ち出してください。20年にも渡る構想なのでから今後市民の学習環境が狭められていくことにつながらないよう唱っていただきたいと思ひます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
産業	意見	産業政策に関し、雇用を守る、新しい雇用をつくり出す視点も加えていただきたいと思ひます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
地産地消	意見	地産地消は、単に地域産業の振興だけでなく、輸送に伴うエネルギー消費（フードマイレージ）を削減し、地球温暖化防止に役立ちます。クローズされた地域の消費経済に、地産地消を位置づけることにより、結果的に地域経済の活性化と、地球温暖化防止に役立つことを主張すべきと考えます。「7産業・消費活動」について、地産地消が地球温暖化防止に役立つことを、強調するとよいと思ひます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
行財政計画の提示	意見	基本構想・基本計画の実行性を担保するために、少なくとも、今後10年間の行財政計画を市長は、作成して提示すべきです。20年計画とするなら、その間の財政のあるべき姿を、市長として提示すべきです。単にこれまでの趨勢を単純に延長するだけでは、何の意味もありません。市長や行政として、描く市の将来像を実現するための財源のあり方や財源の確保について、市民に提示する必要があるでしょう。さもなければ、全く無責任な夢物語になってしまう。少なくとも、「財政運営の健全化による財源の確保」位の項目は、明確に設定すべきです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
税金投入の境界	意見	行政需要に対して、どこまでを税金を使って賄うのか、何故税金でやる必要があるのか、その境界の原則を可能な限り明確に提示すべきです。住民に自分のことは自分でやる、家族でやる、なるべく税金の世話にならない、行政の職員に手間をかけない。地域政府は、住民一人がどう頑張っても一人では手に終えないこと、都市基盤の整備、災害や緊急事態、経済社会の激変による影響の緩和措置などには、税金を使い確実に住民の生命、平穏な生活を守る、と明確に表現すべきです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
税収確保	意見	今後の商工業振興計画もあまり積極策がなく、狛江市としてもっと真剣に考える必要があります。もっと税収を増やすことを根本的に考えることが狛江市のまちづくりには必要です。そのためには水と縁を活かす自治だけでなく、地域産業、消費構造を抜本的に考えることや子育て、障害者などの分野で特徴を持った狛江市にして、若い世代の狛江市民を増やすことを真剣に考えない限りこの20年を乗り越えられないと思ひます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
歳入の確保	意見	市の歳入を増やすような努力もあわせて必要となってくるのではないのでしょうか？市が抱える多くの問題が、市の予算が十分にあれば解決する類のものであったりします。産業政策の無策により、狛江市から企業がなくなるようでは、住みたいと思ひ人も減ってしまいます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
財政	意見	狛江市は人口、面積ともに全国でも最小レベルの行政市です。限られた資源(人、物、金)を有効に配分しなければなりません。その観点から今後20年の市を取り巻く社会・経済・自然環境の変化への対応を考えると夕張市とは言わないまでも放っておけば財政面で相当厳しくなることを予測することは難くありません。自治のまちを標榜するのなら、市の財政面の現状と今後の予測をについて、市民に対して忌憚なく情報を公開し、よく理解を得ることが先決だと思ひます。そのうえで、身の丈にあった、たとえば市民の最低限の安心と安全を守る観点から福祉・教育とインフラ整備に特化した独自性のある政策を打ち出したらどうかと考えます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
具体性と内容の提案	意見	文言だけでなく具体性をもたせるべきです。内容については、安心して暮らせる安全な町、美しい景観、地域の活性化、都市農業の振興、新しい都市型商工業の誘致をお願いいたします。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
住民中心の理念	意見	第3次基本構想の素案を読んで、今回の第3次素案は、第2次と比較して行政・学者・住民以外の市長寄りでの、住民を無視した案で、私は反対です。そこで、住民中心の理念に戻すために、次の点を改めてもらいたい。 目標を選挙権を持った住民を基本に、子育て・高齢者が安心安全なまちづくりをする。 具体的には、全文中の「参加と協働」を「参加と共同」に改め、自治は住民による、住民のために運営されることを明瞭にする。 10頁の「用語説明」は削除する。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。

暮らしやすさ	意見	基本構想素案を拝見しました。もっともな内容ではありますが、総括的で、別に狛江でなくてもど自治体にもあてはめられるものだと思います。狛江市は何をアピールしていきたいか＝どこに重点的に予算を使いたいかが見えません。狛江の財産は川と畑と交通の便と人ではありませんか。このうち流動的で結果がわかるものは「人」なので、「暮らしやすさ」を前面に掲げて施策効果を測れるようにしたらどうでしょうか。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
水と緑	意見	「水と緑を活かす」について。昭和50年にこの言葉を掲げて以来、住民はケヤキ等の大木が寸胴切りで縮められ枝を切り払われ、更には根っこを掘り返されてる情景を手を拱いて眺めてきました。一本の樹を守ることさえ不可能であるならば、基本構想の冒頭を空しい言葉で飾ることによって構想全体をも空しい嘘、ただの作文であると告白するようなこの枕言葉は好ましくないと考えます。この言葉そのものに異議を唱える人はいないでしょう。従って、3つの基本政策のひとつが「水と緑を活かした・・・」とあるので、そこで実現可能な基本計画が検討されることを期待します。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
緑地の確保	意見	1 自然・環境、緑があふれる町。相続税のせいか、せつかくの畑、庭木々を伐採してしまう例が多々見受けられます。規制を設けるか、援助するか助政きびしい中で困難とは思いますが、緑と土は温暖化防止の上でも重要なはず。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
高齢者福祉	意見	バリアフリーを促進するまち 私は障害者で保健師の方に大変お世話になっていますが、高齢者の収容施設は今満杯で、公営の特別養護施設の完成が待ち望まれるところです。他の自治体並みの福祉の充実を望みます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
人材活用の仕組み構築	意見	地域の活性化が狛江市の将来像をつくり、それを実現するには人材の活用がすべてです。市民参加と協働事業を継続させるためには3世代の交流による長期的な世代交代を基本構想に盛り込むことを提案します。活かさなければならぬもの、それは人材ではないでしょうか。お金も土地も大企業も大学もない狛江市の持つ財産はこれです。保護の対象であるだけの小・中学生や高齢者も含めて、市民の知恵と力を十分に活かし切ることで未来を拓こうというメッセージを盛り込むことは如何でしょうか。「水と緑を活かす」ではなくて、「すべての人を活かす」です。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
人材活用の仕組み構築	意見	市民参加と協働の自治を具体的に推進していくためには、地域人材の活用とその継続する仕組みづくりを作ることが必要です。市長部局で関係する所管部署を統合するプロジェクト（機能組織）を立ち上げ、事業実施、評価という試行錯誤を繰り返しながら改善していくことが重要であることを基本構想でしっかりと議論しておくことが大切です。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
出合い	意見	三十路限定イベントを開催して、未婚者の交流のきっかけをつくる。（出合い）
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
世代交流	意見	ボランティアは予算をつけて市が育成し、認定証を発行するまでにする。（世代交流）
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
生活支援	意見	UNIDYなどの協力をもらって市民学校をつくり、簡単な修理や判断の仕方、機器の使い方を学ぶ。（生活支援）
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
エコ関連企業の誘致	意見	現在は市の収入面での強化は最重要課題と感じており、エコ関連企業（研究所、工場等）の誘致は焦眉と考えます。これはエコ関連商品開発に力を入れる食品メーカーや電機メーカー、昨今増加する農業参入企業を対象に、狛江市に研究所や工場といった施設を設置してもらうよう働きかけるものです。こういった企業はCSRの精神も比較的高いので、税制などのファンダメンタルな条件に加え、パブリックアクティビティや市民参加、産学連携など自然との共生取り組みを理解してもらえば、ビジョンを共有して進出してもらえる可能性があると考えます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
きたない街	意見	狛江に来てまず思ったことは路上にゴミが多く駅前あたり前のように放置自転車があふれていて きたない街 だということです。このような環境がなぜ放置されているのか、不思議に思うと同時にそこに住む方々のモラルまで疑ってしまいました。ゴミや自転車のことは小さなことかも知れませんが、けれど、どんな素晴らしい政策を掲げても、街の第一印象 や そこに住む人々のイメージ が悪ければ魅了ある街とは言えないと思います。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
ゴミ	意見	清潔で美しく、皆がルールを守り、気持ちよく暮らせるモラルのある町。道路脇の植え込みにはコンビニ弁当の食べかす、ペットボトル、空き缶が投げ捨てられていたり、犬の糞もあちこちに。多摩川の土手もゴミでひどい状態。自転車の駐輪禁止場所への大量の駐輪も町的美観を損ねている。一方で、「タバコの吸殻投げ捨てはどのようなアクションの結果か、大幅に改善されてきた。」（やればできる良い例だ） 組織的な啓蒙運動を望む。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
河川敷ゴミ	意見	多摩川河川敷で毎週（特に土・日）パーベキューなどが食材を持ち込んで行われています。日中のグループは大体片付けてゴミを持ち帰りますが、特に夜来る人は散らかし放題です。早朝よりカラスの大群が小田急鉄橋に止まり、大変です。構想も良いが、至急対策することです。注意・禁止事項の看板（違法者罰則、カメラ設置等々）をしっかりと各所に掲げること。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。

河川・植栽管理	意見	昔は河に人間の手を加えることはしなかったようです。でも、野川の管理はそうではない様です。 先ず、擁壁の部分に植えたツツジの手入れなんか、いらぬ手間をかけ、なお、その上刈り取った草をどう処理しているのか、知りたい…。それに道路端に植えたツツジ等などもその手入れに無駄なことをいっばいしています。美観の前に何をどう植えて手入れしたら良いか、考えるべきです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
環境	意見	多摩川は、貴重な自然の資源です。この多摩川の環境を守りつつ、市民にとっても自然と共生できる場所として、活用する施策を検討いただきたい。環境保護としては、ゴミの問題が最優先としてあげられます。多摩川の河川敷では、パーベキューの後にゴミの山ができます。それをゴミ収集車が回収をしています、おそらく市の負担で回収をしているのだと思います。川は国の管理だからということで、市としては手を出せないという話を聞きましたが、大問題であるので、地元自治体として手を打っていただきたい。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
漁協との連携	意見	自然・環境について。「多摩川を市民の憩いの場等として保護し活用する」点では、魚の放流や管理など行っている漁業協同組合との連携が必要と思います。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
高架下整備	意見	小田急工事終了次第、高架下にゴミ置き場、トイレ、水栓を設置。何なら有料で。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
桜の植樹	意見	残念な事に市庁のまわりには桜の樹木がない事に気付きました。ほんの2, 3本それも小さな木です。正門を入れて2階への回廊があります。その1階部分に桜の樹が7, 8本位植樹されたら、未だ生きている内に桜の花を見る事が出来るのでは。桜はなんと言っても日本の国の象徴です。実現させて下さる事をお願いします。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
市民農園	意見	耕されない畑、砂が飛んでいるのに…。なんとか法令が緩やかになり、少し近くにて広い畑が借りられたらと期待します。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
生ゴミ対策	意見	「ゴミ減量化やりサイクル」では、家庭から出る最大のゴミ、生ゴミを堆肥にしての野菜づくりをする市民農園の優先提供し運動化することを提案します。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
川の駅	意見	多摩川サイクリングロードの休憩地として、むいから民家園を活用する。(川の駅)
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
他分野の環境施策	意見	子育て・福祉・健康づくり、教育・文化。・課外授業における自然教室強化、・市民活動におけるエコ関連事業の支援、・エコ関連活動における他自治体との連携。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
バイク対策	意見	バイク通行禁止(大きな禁止、表示板)高スピードで危険。音がうるさい。警察の取り締まり強化。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
バス	意見	公共バスはとても助かっています。現在の循環バスの逆コースも作ってもらえると、とても便利です。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
プレーパーク	意見	自然の豊富な狹江の特徴を生かし、世田谷区のプレーパークのように、火が使える、危険を避けるのではなく、何が危険か体験して身につけるような外遊びの場所・機会を就園前に得られるようになればと思います。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
川を活かした空間	意見	美しい景観の街並み、という部分については、もっと河川敷の整備を進めて欲しい。多摩川という素晴らしい資産がありながら、その良さを生かしきれていないと思います。駅から上流の方は、桜並木が美しいのですが、多摩川沿いは全く整備されておらず、残念ながら楽しんで・安心して歩く環境にはほど遠い状況だと思います。是非、多摩川の良さを生かした、家族がもっと楽しめる空間の創出を検討いただき、実現して欲しいと思います。一つひとつの縦割りの整備ではなく、総合的な一貫した思想の基に、美しい景観を計画・実現していただくことを期待します。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
自転車マナー	意見	自転車運転のマナーは最悪!! 歩道での暴走、車道での右側通行(逆走)、夜間での無灯火(巡査が近くにいるにも注意も行われぬ)、ルールの無いものはルールを作り、周知徹底させ、ルールは必ず守ることにより、気持ちよく安全に生活できる町にしたい。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
若者定住	意見	高齢者の暮らし易さも、若い世代が活躍してこそだと思います。彼らが住みたくするような画期的な政策を、小さい行政だからこそ実現できるのではありませんか。例えば空き屋を魅力的な若者向き住宅として再生し、斡旋するなど。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。

騒音対策	意見	太鼓(ドラム)叩き、音のする花火の禁止等。狛江市として全国に先がけて新しい法令を。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
駐輪場	意見	喜多見、狛江駅前に、市が経営する一時駐輪場を。小田急のパーキングはずさんで、値段が高い。もっと広くスペースをとって作ってほしい。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
転入促進	意見	企業や専門学校との寮とか、2世帯住宅向けの住宅優遇、他地域からの誘致と活性化。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
都市基盤と環境	意見	都市基盤・緑化の更なる徹底、河川管理のエコシステム化などの追加
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
土手	意見	土手の舗装化の実施。下流の世田谷区と上流の調布市エリアの土手は舗装されているのに、狛江市部分のみ砂利道歩行者、ジョギング、サイクリング、そして最近では、車いすの散歩が多くなっていますが、砂利道で、歩行、走行がとても不便である。雨が降ると、ぬかるみ、水溜りができ更に不便。多摩川堤防上を舗装して通勤・通学(狛江高校)又子供や足の弱い老人・椅子等の人達が歩きやすいようにすべきです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
道路と交通	意見	道路網や道路の整備や市内循環バス「こまバス」の運行・充実。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
歩行空間の充実	意見	地球温暖化防止、少子高齢化の進展等から自動車優先のまちづくり(道路・交通対策)の見直しの機運が高まっています。自転車・バスに加え、歩行者が安心して、快適に歩けるみちづくりを積極的に打ち出していきたい;歩道設置の推進、自転車との分離の試行、コミュニティ道路の設置、沿道緑化
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
放置自転車撤去作業	意見	駅周辺の放置自転車の撤去には大変不快感をいただいています。そこで働く老人達はタバコをふかし、空いた時間を浪費している。せめて辺りの清掃なり除草をしていれば市税が無駄にならない。市が考えねばならぬことは罰則的に有料撤去することではなく、場所を設け、無料で整列してあげる老人を老人福祉として雇用することです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
健康器具	意見	最近、都内の公園や遊歩道でも見かけるようになった健康器具のこと。これから高齢化社会へ突き進みます。体育館やスポーツに縁のない層も日常的にストレッチができる健康器具が公園等に増えるといいなと思います。色、デザインは楽しげなものにして、幼児からお年寄りまで親しめるものを。明るい社会は健康からです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
健康情報	意見	HPなどを利用して、市民団体のヨガ、体操、気功などのグループ運営を紹介して下さい。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
高齢者福祉(老後)	意見	私は一人暮らしなので、老後の事が心配です。団地内に、デイサービスや、24時間見守りのシステムがあれば良いと思う。又、老人ホーム(市営)があればと思う。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
読み聞かせ	意見	個人宅を開放してもらい、読み聞かせボランティアを派遣し、本のある家を点在させる。(子育て)
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
子ども医療費	意見	子育て環境について、子供の医療費補助の充実を23区並みにして欲しい。中学生まで、医療費負担がないようにすることが、子育て世帯にとって、相対的に魅力的な狛江市になる大切な取り組みだと思います。子育てを一つのテーマに掲げるならば、その部分の充実を徹底して検討・実現していただきたいと思えます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
保育サービス	意見	昨今の経済情勢を反映して、待機児が増えています。子育て世代誰もが、できるだけ質の高い保育サービスが受けられるよう場の確保を切に望みます。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
子育て	意見	子育てについて。すでに児童館を指定管理者制度で大きく委託していますが、中身(子供の発達を真に目的として)を検討していますか?例えば全く個々の発達を一番大切にすべき、0才、1才児をクラス編成にしてノウハウで釣って人集めに躍起になり、目的を問うても「人集め」を公言しています。本当に狛江の母子を大切にしているのは何処なの?
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
グラウンド	意見	多摩川狛江地区の河原に総合グラウンドを設置し、市民全体の運動会etcの開催を可能にするなど、市民の体力向上、親睦を計ること。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
こいのぼり	意見	野川に鯉のぼりを泳がしたらどうでしょうか。各家庭にある使用しない、布製の鯉を提供してもらい、狛江市の地名を有名にする。(1,000匹集める。)
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。

公民館	意見	「公共施設再編方針委員会案」は費用対効果を錦の御旗に公民館廃止や中央図書館見直しを提言しました。これが、「人間味豊かな文化を創造するまちづくり」になるのですか？ 現在、市民が活動している中央公民館が形を変え、情報の提供のみで支援の場となり西河原に統合されると聞き、心配しています。狛江市の中心に位置し、市民が一番便利に活動でき、しかも窓口で常に職員の方達が細かい要望にも親切に丁寧に接して頂けることは生涯学習の拠点、そして大切な人間関係を深めていく意味でも、今のシステムを減らすのではなく維持して欲しいと市に希望します。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
子育て	意見	公民館保育室を利用しています。私にとって、子育てをする上でとても重要な場所です。単なる託児ではなく、継続して学べる場として、現状での存続をお願いしたいです。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
図書館	意見	23区内にあるような充実した図書館を2ヶ所、造ってほしいです。教養の充実、DVD等もっと増やしてほしい。まずは、調布市の中央図書館を参考にしたいと思っています。団塊の世代を大事にしないとツケはいずれ回っていくと思います。会社人間、働きバチで無我夢中に働いてきたのに税金だけもっていかれ、心の充実が得られない街では、市民はでていってしまうでしょう。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
図書館・子育て	意見	中央図書館での絵本の読み聞かせで、時間をもう少し長く、広い部屋で、母親同士、コミュニケーションのとりやすいプログラムを。核家族でふだん1人の育児で疲れ、ストレスをためやすいので、ヨガやピラティスのとりやすいプログラムをつくってほしい(子連れOKで)です。リフレッシュできる場があまりないように思うので。有料でも参加したいママは結構いらっしゃると思います。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
生涯教育	意見	狛江市では現在、市民参加、市民協働を推進(まちづくり条例、市民参加・市民協働条例等)して、自治のまちを先取りしており、市民は汗をかくと同時に知恵を出すことが求められています。市民活動を支援する条件整備は行政の責務であると考えます。そこで、講座や学習会等事業の提供、市民の知る権利にこたえる資料提供も盛り込んでいただきたい。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
地域文化	意見	地域を博物館に。私の提案はこれらの事物などに解説板とその位置のマップを作りたいということです。狛江市史や狛江市文化財調査報告書等を見れば歴史的環境を構成する歴史遺産が多数あります。これらを整理して選び出した事柄に解説板を設置し、その位置を既に作成されている「こまえ散策マップ」にプロットします。建物ではなく地域が博物館になります。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
花火大会復活	意見	河川の市民への活用として、花火大会を復活してほしい。財政上の都合で難しいとのことですが、市民からカンパを募るとか、有料席を設けるとかの対応策はいろいろ考えられますので、ぜひご検討いただきたい。花火大会は、昔から狛江のシンボルでした。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
雇用機会	意見	再生業者として有望な若い世代グループを育成する。(仕事を作る)
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
集客対策	意見	集客として自慢の多摩川沿いに田舎風のスパ(地産地消で高齢者が働けるような)があったり、コンパクトな市内だからこそ、シャトル(循環)バスが充実(市民半額とか)しているといいなと思います。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
地域農業	意見	狛江産野菜はとてもおいしいので、担い手や販路の拡大として、留学生や体験農場、高齢者による手作り料理(店)の場所ができるといいと思います。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
農業	意見	農業の町狛江、優秀な農家の野菜を売り込む。毎週朝市を開催する。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
寄付	意見	深大寺公園に行った時は、大分以前の事になるかと思いますが、都の方で「想い出づくり」?頑丈な椅子に立派なプレートを都民の寄付者名を刻印して制作設置にしてあるのを見て、中々良い構想だなと思いました。狛江の場合、適当な広場を選定するのも大変かと思いますが、長期募集してある程度まとまったら善意の椅子で、くつろげたら良いかなと思いました。
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。
緊急のこと	意見	地域政府がやるべき義務性、緊急性の高い事務を幾つか参考例に挙げれば、以下の通り。下水道の分流化と排水容量アップ。市内の大半は合流式下水道です。50ミリ以上の雨で、マンホールを押し上げて、道路に汚物混じりの雨水が噴出する恐れが十分にあります。市内交通網の再編、車歩自転車の分離は必要です。思い切って将来の域内交通の中心を自転車としてはどうか?自動車の通過交通と地区内通行の分離のため、CUL DE SAC(袋小路)の導入も検討してほしい。自治の関係で言えば、地方財政法を改正して、課税自主権を完全に地域政府のものとするべきです。今まで、一定額の税収を所与の条件として、それを如何に使うかという考え方でした。しかし、これは逆で、本来、自治体は、何をやるべきかを決めて、その必要額を課税する、住民に負担してもらうという考え方に立ち帰るべき時だと思うが、如何でしょうか?
	考え方	基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。

【2 市の考え方】

分類	いただいたご意見と市の考え方	
環境への姿勢	意見	私の最大の関心は「水と緑の町」という自然環境にあります。本当に狛江は緑の街？違う、緑を求めている？違う。私の理解からすると、便利さや消費構造活性化のためには市の保全樹林であれ自然などは、ゴミめのようにしか扱われていません。落葉がじゃま、鳥がうるさい、高木が高すぎて管理が追いつかない...。という理由でどんどん切ってゆく。頭をちょん切られた樹木がどれ程あるか。道路幅を広げるために桜がどんなに切られたか。この傍若無人の横暴に狛江市民の誰が抗議したのでしょうか。
	考え方	行政に対するご意見として真摯に受け止めます。
審議期間	意見	計画期間20年間の基本構想の素案づくりに対して、審議期間があまりにも短い。基本構想審議会を傍聴したが、審議は不十分であると思います。審議不十分で、今後20年間もの基本構想を決めるべきではないと考えます。本基本構想の素案がたった半年、計7回の審議会で策定されたということですが、今後、狛江市の20年間の政策の元になる重要な構想ですからもっと時間をかけて基本から再検討されたいかかと思えます。
	考え方	懇談会も含め、10回の会議、市民フォーラム、パブリックコメント等市民参加の手続きを経た結論であり、検討が不十分であるとは考えていません。
審議方法	意見	審議方法。審議会等の諮問組織の構成委員の数は、多くても10人以内とするべきです。わが国ないし世界の泰斗を集めて、それだけで構成するべきです。広くご意見をなどと、いちいちパブコメなどをやる必要はありません。
	考え方	市民の皆さまが主体となるまちづくりを進めるためには、パブリックコメントなどの一定の市民参加の手続きが必要であると考えています。
検証と課題	意見	第2次基本構想の評価・総括と課題の抽出をして、第3次構想に反映すべきです。これまでの構想についての達成状況や評価や総括は、何もない。総括や課題の整理もないままに、いきなり第3次の基本構想に入ってしまうのは、おかしくないでしょうか。たとえ、数値目標がないとしても、一定の評価をして、今後の課題を整理して、公表するくらいのことは、最低でも早急にすべきです。4つの項目別に、平成2年から平成21年まで20年間の主な事業や成果・実績を経年的に整理し、その上で、総括評価と課題抽出することは欠かせない作業です。このような作業をすることから、自ずと、第3次基本構想に盛り込むべき項目が導かれてくることになります。
	考え方	第2次基本構想策定時の課題についての取り組みと現状を整理したものは、第2回審議会にお示ししています。また、今後の評価を容易にするため、第3次基本構想のもと新しい基本計画には指標を設定する予定です。
検証	意見	第2次構想の総括の上に立って3次構想があると思います。第2次構想の実施上の問題点は何か、構想自体に問題はなかったのか、そうしたことが、3次構想にも反映して欲しいものと思います。
	考え方	第2次基本構想策定時の課題についての取り組みと現状を整理したものは、第2回審議会にお示ししています。また、今後の評価を容易にするため、第3次基本構想のもと新しい基本計画には指標を設定する予定です。
現実の直視	意見	東洋経済新報社の全国市「住みよさランキング」では、狛江市は、多年、都内26市で不動の最下位という栄誉ある地位を得ています。住みにくさトップが現実の姿です。この結果は、都市計画がなかったり、総合的な都市形成を怠ってきたかの表れといえます。現実を直視して書き直してもらいたいものです。
	考え方	この小さな市域において、市民の方に住みよく暮らしていただくための施策の方向性を示すものが基本構想であると認識しています。この基本構想にある将来のまちの姿を実現するために、各種施策に取り組んでいきます。
基本計画の議会付議	意見	基本計画の議会付議について。議会の議決を経ることは、地域政府の機関決定です。条例と同等に首長が変わっても改定の議決がなければ、効力を持ちます。基本計画も、首長の都合でこころ変わるものではないでしょう。変えるときは議会に付議すればよいので、変える理由も開示され、自動的に改定過程の透明化が担保されるでしょう。
	考え方	現在、基本計画を議会に付していくことは考えていません。また狛江市市民参加と市民協働の推進に関する基本条例において、基本計画は市民参加により策定していくことが明記されていますので、改定する際の透明性も確保されていくものと考えています。
三段階の理由	意見	自治法に定める基本構想が何故、三段階に分かれるのか、分ける理由が明確ではありません。基本構想を第1, 2, 3章と分ければよいではないか。基本構想と基本計画、つまり第一、第二段階は少なくとも議会に付議するべきです。基本構想は理念、ないし総論のこのようであり、総論だけ議会の議決を経るのは、通り易そうな部分だけ議会に付議して、あれもこれもと異論、注文の出そうな部分は付議せず、執行機関の裁量を広く確保したいとの意図ありと勘ぐることも可能です。これは議会軽視です。
	考え方	地方自治法の規定に基づき、基本構想は議会に付していきます。また、基本計画に基づき編成する毎年度の予算についても議会の議決を経ることから、議会軽視であるとは考えていません。
基本構想の役割	意見	基本構想は、執行機関の事務処理に当たっての、判断の基準と裁量の範囲を明確に示すものでなければなりません。現代では、書き方としては極めて実務的な、ROMANCEよりは条例に近いものが必要となっています。際限なく増大する行政需要について、利害相反する行政課題を処理する際に、この基本構想素案をもとに迷うことなく判断できるか、疑問です。解釈しだいで如何様にも対応できるように書いてあります。取捨選択、優先劣後を示さねば、基本構想を作る意味がありません。自由裁量の余地が大きいほど執行機関側は都合が良いかもしれないが、総合的かつ計画的な事務処理の役に立ちません。

	考え方	基本構想は市のめざすまちの姿とその方向性を示すものであると認識しています。取捨選択や優先劣後についての議論は、基本計画・実施計画を策定する中で行われるものと考えます。
納税者の視点	意見	自治のまちとは、滑稽であり、勇敢です。納税者の視点から全面的に、書き直されるべきです。自治の主役は、納税者である、いわゆる市民ではありません。にもかかわらず主役であるはずの納税者は、基本構想素案には登場しない。身銭を切って自治を支えているのは納税者であり、この視点が全く欠落しています。
	考え方	用語説明にもあるとおり、住民、市内で働く人、就学する人、その他団体・企業がみんなで共有する基本構想であると考えています。
10割自治	意見	自治を標榜するならば、現状の5割自治を9割か10割自治を総合的に計画的に実現する政策を打ち出すことが先決です。国や都からの交付金、補助金をなしでもやってくるには如何にするのか？
	考え方	自主財源の確保は重要な課題と認識していますが、現行の制度のもとでは施策を進めるために、交付金等も重要な財源と考えています。
具体性	意見	構想というより理想ないし願望といった感じがします。もう少し注力程度とか優先順位的な具体性を伴った表現がなければ方針とはいえ、自己満足の標語か飾り物の掛け声に終わってしまうことでしょう。また、行政の範囲を超えたような表現もあり、実現可能性に対する認識にも疑問が残ります。全体的に抽象的な表現が目立ちます。なるべく具体的に、市民にわかりやすく。また、「水と緑を活かす自治のまち」の表題がわかりにくい。
	考え方	基本構想で定めたまちの姿を実現するために策定する基本計画、実施計画において検討されることと考えます。
実行	意見	ご提示されている素案は誠に結構です。これを具体化していくには重点的に2,3の項目を上げて市民の参加で具体策をたて、実行していった頂きたいと思えます
	考え方	基本計画の策定において、検討されることと考えます。
実践	意見	語るに少なく、行動する多く！基本構想とは建前=お題目=総論にすぎません。どんな立派な項目を並べたとしても、否、並べる程、実質やる気のない者にとっては各論=具体策では、体裁をつくらうことに終始しやすい。
	考え方	基本構想は市のめざすまちの姿とその方向性を示すものであり、それを実現するための基本計画・実施計画のもと、施策を進めていきたいと考えています。
重点化	意見	継続的に効果が測れて、市民に評価を問える施策に重点的に税金を投入してください。
	考え方	基本計画において指標を設定する予定です。事業や施策の有効性を図るに当たっては、その指標が一つの目安となっていくと考えています。
総花的	意見	案を読ませていただきました。率直な感想としては、期待していただけに総花的で独自性があまり見られず残念です。一読して総花的かつ市民迎合的です。狛江ROMANCEとしてならば出来は良い。時代の変化を感じていない。高度成長期の感覚のままの内容とスタイルを踏襲しているようです。表紙を取り替えると、首都圏の河川のある自治体のどこにでも使えます。汎用性があるところは、工夫が感じられます。
	考え方	基本構想は市のめざすまちの姿とそれを達成するための施策の方向性を示すものであると認識しています。
選択肢の提示	意見	マクロ的にも今後20年間の日本、世界の社会変化に対して、特に社会保障分野（年金、医療、福祉、教育など）の視点から狛江市民、まちの姿をイメージしておかないと基本計画で行き詰まってしまう。そのためには、基本構想の段階でいくつかの選択肢を提示することが本来の市民主導に移行するためには不可欠だと思います。
	考え方	基本構想は市のめざすまちの姿とそれを達成するための施策の方向性を示すものであると認識しています。ご指摘の部分の議論は、基本計画でなされるものと考えています。
日本一	意見	コンパクトの町狛江だからこそ、日本一の町づくりをしてもらいたいです。
	考え方	基本構想・基本計画に基づき、各種施策に取り組んでいきます。
狛江の独自色	意見	地域的資産の質の高さとしては、二子玉川に引けを取らないと思いますが、街の魅力としてそこまでいかないのは、狛江の独自色が見えないことにあると思います。住んだ市民としては、とても住みやすく好きな街なのですが、世田谷区であつたら良かったのに、と正直思うことがあるのは、狛江独自の特徴が良くわからないからだと思っています。
	考え方	審議会でも狛江の特徴に関する議論がありました。新しい基本構想は、狛江の特徴を活かした内容となると認識していますので、それに沿って各種施策を進めていきます。
狛江らしさ	意見	折り込みチラシ裏面の項目に関しては、どれももっともでありながら、全く「狛江らしい」点を感じられないのが残念です。無難な表現ばかり並べていませんか。
	考え方	審議会でも狛江の特徴に関する議論がありました。新しい基本構想は、狛江の特徴を活かした内容となると認識していますので、それに沿って各種施策を進めていきます。
誇り	意見	狛江市のアピールポイント「水と緑のまち」を最大限引き出し、「ほこらしいまち」にする。
	考え方	審議会でも狛江の特徴に関する議論がありました。新しい基本構想は、狛江の特徴を活かした内容となると認識していますので、それに沿って各種施策を進めていきます。
行政の責任	意見	市民参加は良いのですが、行政責任が曖昧になっていませんか？矢野市長の公約姿勢である市民の目線で、行政のプロとして意見を聞き、市民活動を促進させ、場合によれば先頭に立つことも必要と思います。公民館の専門家要請も必要ですし、教育・文化の条例も必要ではないですか。
	考え方	市民主体のまちづくりを進めるうえでも、市民と行政の役割分担をより明確にする必要は認識しています。

伝統や既存施設活用	意見	伝統を大切にすまちは 狛江市は大企業が少なく、税収が少ない中で既存の施設を上手く使い、古いものを大事にする精神を市民全体で共有することが大事だと思います。
	考え方	既存施設の有効活用は、行財政改革の観点からも重要と考えています。
夢	意見	20年を考える上で、ありふれた内容です。ギャンブルの町(カジノ)、小さくても国際都市、神の町、国際的水都市など、夢のある内容がほしい。
	考え方	より狛江市に合った内容の基本構想を策定するため、狛江市の現状に精通されている学識経験者や市民等で構成される総合基本計画審議会に検討をお願いします。
オシャレ	意見	狛江を緑豊かなオシャレな街にしたい。通り、商店街、住宅地を例えば国立市のように。住んで楽しさを感じる街へ。イベント、野外音楽会など。
	考え方	基本構想は市のめざすまちの姿とその方向性を示すものであると認識しています。
協働	意見	自然・環境の変化が多くあらわれるためにみんなで協働参加自治のまち作りなのでしょう。
	考え方	自然・環境のみならず、他の施策においても協働・参加を基本としたみんなで作るまちとしていることが、今回の大きな特徴です。
教育	意見	日の丸・君が代の強制とそれに関する処分に見られるように、都教委の方針は必ずしも教育的とはいいいかねる特異なものが目立ちます。教科書の選択についても各学校の希望が分りにくいようなやり方を求めています。このような教育的ではない都教委の方針に惑わされることなく、本当に子どもたちにとってよい教育とはどういうものなのか、市として自立した構想を持って、その実現のための方策を追求してください。
	考え方	より狛江市に合った内容の基本構想を策定するため、狛江市の現状に精通されている学識経験者や市民等で構成される総合基本計画審議会に検討をお願いします。
景観と環境	意見	農地、緑の多い狛江だからこそ、北欧の様な景観、又、CO2削減、日本一の都市作りを目指したいです。
	考え方	審議会でも狛江の特徴に関する議論がありました。新しい基本構想は、それを念頭においた内容となると認識していますので、それに沿って各種施策を進めていきます。
少子高齢化	意見	20年後、少子化を見越した対策が全く述べられていない。高齢化していく中で、歯止め策が見えない。
	考え方	審議会に人口推計の資料をお出ししていますので、この推計を念頭において議論がなされていると認識しています。
産業振興	意見	産業の発展がもっと多くなれば、若い人も勤めやすくなり、良いと思う。
	考え方	その観点から、この基本構想素案の「7 産業・消費生活」は作成されています。